教育大学新聞
'68 7/12
号外No.6

本日
▼1時
▼講堂
理学生大会

7/10~11 教・学部長団交

対評議会団交幹旋確約

[illegible]の日の教育学部教授会に向けて、文学部当局は、[illegible]を中心とする学部[illegible]。教授会は[illegible]。

[illegible]学部長団交は、[illegible]。教授会は[illegible]。

[illegible]学部長に於いて午後四時から持すべきだという意見が対立、あるいは[illegible]。長坂学部長だ心文学の様式について対立するなどの紆余曲折があり、[illegible]。

[illegible]教育学部教授会の指導の下に文学部長団交は、[illegible]と教育学部自治会の[illegible]。

[illegible]教育学部教授会は6月20日の評議会[illegible]。しかし話し合いは[illegible]。

[illegible]教授会側は教育学部の学生[illegible]に於いて決定されたものは手続的にも[illegible]。

[illegible]教育学部の学生[illegible]。文学部の学生[illegible]。

[illegible]学生委員を単位としてでなくて、[illegible]。

[illegible]。

[illegible]教授会は全学生との仕方の団交でおくまで移転の同意の条件を検討する[illegible]。

[illegible]は八月二五日の評議会で確認され以上を文学部当局[illegible]。教育学部教授会は学生委員長　倉沢[illegible]

[illegible]ている。」という見解を主張し、調査と同学部長（代行）橋本[illegible]

[illegible]は[illegible]の他、文部省の見解あるいは[illegible]教授会における評議員の報告をみて[illegible]。

[illegible]も明らかに移転を前提とする調査とであり、教育学部教授会の基本的態度につ[illegible]る。」と、[illegible]る学生と対立した。また、評議員の文章化を計画しており、内容は大[illegible]教授会との団交についても、これを踏み込み[illegible]次のようなものになる見込である。

[illegible]が、[illegible]次のような事項を文書で確認[illegible]。

一、教育学部が当分の間大塚にとどまると[illegible]。

[illegible]。

[illegible]。